

平成 21 年 7 月 1 日 発行

代行試験の有償化を実施

生コン工場に勤務しているあなた、出荷のミキサー車と前後して試験室員がトラックに試験器具を乗せ、現場に向かう姿を何度となく目にしていますよね。あの現場試験の大部分が工場にとって必要なものではなくて、お客さんのための無償サービスだということを知っていましたか？

えっ、知らなかった？ いや、いや、知らなかったとしても別に不思議ではありません。何しろ、生コン工場経営者の中にもこれをご存じない方もいるのですから。

私たちの生コン工場の運営は、原則として JIS A5308 に基づいていますが、その JIS の一番最初に次のように書いてあります。「この規格は、荷卸し地点まで配達されるレディーミクストコンクリートについて適用する。配達されてから後の運搬、打込み及び養生については規定しない」

従って、私たち生コン納入者が実施しなければいけない試験・検査は荷卸し地点つまりミキサー車のシュートの先端までであって、そこから先は「土木学会標準示方書」「建築学会 J A S S 5」あるいは発注官庁の定める仕様に沿って、購入者の責任で試験しなければいけないわけです。

ところが、これら購入者で行なうべき各種試験のほとんどを私たち生コン工場技術員が無償で代行してきたのが実情で、そのために技術員が多くの方の労力と時間を割かれ、本来の工場の品質管理がおろそかになっている例も決して珍しくありません。

これまでは工場内でやりくりして何とかこれに対応してきましたが、このところの出荷数量激減に伴う人員削減などでそれも限界になっています。そこで、技術委員会や理事会で検討を重ねた結果、受入検査の基本に立ち返り、去る平成 20 年 4 月より、止むを得ない事情のある場合を除いて試験の代行を辞退する旨を購入者にお願ひし、1 年間の準備期間を経て来たる平成 21 年 4 月からは全面的に代行試験を辞退することとしました。

とはいっても、諸々の状況から判断すると、試験設備を持っていないとか試験のやり方がよく分からないなどの事情で、すべての購入者が自身で各種の試験を実施するとうことは考えられず、これまでのように生コン工場の技術者が試験を代行せざるを得ないと思われまふ。従って代行試験はなくなってしまうでしょうが、従来のように無償ではなくて有償の代行といたします。それぞれの試験項目ごとに料金を定めていますが、これは実費に相当するもので、営利を目的としたものではありません。

県外においては、数年前に発覚した鉄筋偽装に加え、生コン原材料としては不適切な溶融スラグを混入した偽装生コン問題の発生を機に、コンクリート構造物に対する社会の目が非常に厳しくなっています。組合員の皆さんにおかれては更なる品質管理の徹底と技術力の維持向上に努められるよう、改めてお願いします。

工組・協組連・青年部総会

第 37 回高知県生コンクリート工業組合、第 10 回高知県生コンクリート協同組合連合会及び第 8 回高知県生コンクリート協同組合連合会青年部の通常総会が、去る 5 月 25 日に高知市の三翠園ホテルで開催されました。



青年部西川副会長の司会で、田邊理事長を議長に選出し、工業組合と協同組合連合会の合同で審議が進み、それぞれの平成 20 年度事業報告および収支決算、平成 21 年度事業計画案および収支予算案などが可決承認されました。また、今回は役員の改選時期に当たっており、総会



(上)挨拶する田邊理事長 (下)受賞者のみなさん

とは別に理事会も開催され、別表(裏面)の方々平成 21～22 年度の各役員として選出されました。

引続いて行なわれた従業員表彰では、優良運転手 2 名、優良従業員 2 名、コンクリート技士・主任技士 8 名の方々に対し、理事長から表彰状と記念品が手渡されました。

総会終了後、衆議院議員高知 1 区選出の福井照氏を講師に迎え「防災と道路」と題して、遠くない将来に南海地震の発生が想定される中で道路基盤整備の遅れている高知県の現状と福井氏の政策等について講演を聴きました。

引き続き、多数の来賓を迎えて懇親会に移り、高知県知事、高知県議会議長、高知市長、高知県建設業協会会長及び全国生

コンクリート工組連常務理事の挨拶の後、太平洋セメント(株)四国支店長田中氏の音頭により乾杯し、親睦を深めました。また、総会開催の時間中にホテル玄関先で行なわれた恒例



小学生によるバケツリレー 後方は中芸生コン工場

防災フェスタ in 奈半利 2009

高知県防災会議及び東部地区 9 市町村防災会議主催の総合防災訓練「防災フェスタ in 奈半利 2009」が 6 月 7 日(日)に奈半利新港で開催されました。

この訓練は県内を 5 つのブロックに分割し、毎年、「県民総合防災週間」(6 月 1 日～6 月 7 日)の期間中の日曜日に、実施するブロックを変えて行なわれています。訓練の目的は、災害対策基本法に基づいて大規模地震や豪雨などの災害を想定し、県・市町村・各防災関係機関の連携した訓練を実施することで、総合的な防災体制を確立することにあります。また、併せてお祭りの要素も持たせて「地域防災フェスティバル」も開催し、地元住民や見学者に、楽しみながら防災意識を高めてもらおうという側面もあります。

この総合防災訓練は今年で 34 回目、地域防災フェスティバルは 5 回目となるそうですが、本年度の参加者は約 60 の機関から約 1,000 人で、天候も良かったことから家族連れなど多くの見学者が訪れました。

本年度の特徴は 1 部と 2 部に分かれ、1 部では土砂災害を想定し、2 部では南海地震と風水害を想定した訓練が行なわれました。さらに海上自衛隊の艦艇による災害支援隊の上陸訓練、F2 支援戦闘機や県警ヘリによる被害偵察飛行など、今までに見られないものがありました。

当協同組合連合会の訓練への参加は本年度で 6 回を数えま

の献血には、25 名の組合員の参加が得られました。ここに改めてご協力感谢您いたします。

すが、本年度も消火用水の得られない地域で発生した火災を想定し、ミキサー車を使って水を運搬して水槽に貯め、これを奈半利小学校の児童たちがバケツリレーで初期消火に当たるといったものでした。青年部や中芸生コンクリート(株)の皆さんの協力によって円滑な水の供給ができ、児童たちの活躍に会場から大きな拍手がわき起こりました。

訓練ですからどうしても緊張感の不足は否めませんが、いざという時のためにはやはり毎回参加して訓練を積み重ねておくことが大切でしょう。もっとも、出勤しなければいけないような事態が発生しないのが理想的なのですが。

十和工場が休止 高幡CS

高幡コンクリートサービスの十和工場が 6 月 1 日から休止しています。これにより、工業組合所属の生コン工場数は 47 となりました。

試験を公開 東部・幡多試験所

技術センターでは、業務に支障のない範囲で試験の模様を公開します。希望者はそれぞれの試験所に申し込んで下さい。

品管セミナー開催のお知らせ

当組合では下記の通り、品質管理に関するセミナーを開催します。このセミナーは主として生コン工場経営者及び工場長クラスを対象としたものですが、もちろん一般組合員の皆さんの聴講も歓迎します。ぜひ、ご参加ください。

日 時	7月29日(水) 14時～16時
会 場	高知ちばさんセンター第1研修室 高知市布師田3992-2
演 題	「企業倫理と経営者の責務」
講 師	井上 健 氏 全国生コンクリート品質管理監査会議室長 I S O 審査員
申込み	所属会社名、役職、氏名を記入し、7月22日までに工業組合に郵送又はF A Xしてください。様式は適宜です。

残念ながらことですが、当工業組合員のうちの2工場が品質管理体制に不備があるとして、認証機関である日本建築総合試験所からJ I Sマークの表示停止処分を受けました。これに伴い、適マークの使用も取り消されています。その後、1工場はすでに改善措置を施し、J I S表示停止処分は解除されましたが、残る1工場は停止がなお継続しています。

J I S及び適マークの使用停止は、公共工事への出荷が著しく制限されるため、実質的に出荷停止状態となります。こうした事態の再発を防止し、品質管理意識を高揚させるために行なうものです。

「特別査察」を実施します

この度の組合員工場のJ I S表示停止処分を厳粛に受け止め、再発防止のために組合として自主的に何ができるかについて技術委員会及び理事会で検討した結果、従来の全国統一基準による定例の品質監査とは別に、高知県生コンクリート工業組合独自の基準に基づいた査察を行うこととしました。

これは組合員工場の品質管理状態を把握し、品質管理体制の維持状況をチェックするためのもので、3年間で全工場を対象としています。本年度は7月より開始し、約20工場程度を予定しています。

チェック項目の詳細については7月度技術委員会で説明しますが、「経営者の品質方針 A0101」「技術力の確保 A0301～A0303」「製品品質の明確化 B1101, B1102」「工程管理 B4405」を重点にチェックし、基準に満たない場合は理事長名で代表者宛に改善勧告を行う予定です。なお、査察の結果はその後の直近の技術委員会、理事会及び高知県生コン品質管理監査会議に報告します。

西森氏が就任 新副理事長



この度の総会での役員改選において、2名の副理事長のうち伊藤俊明氏が退任され、後任副理事長に三里生コンクリート工業株式会社代表取締役西森茂氏が就任されました。西森氏は高知県中央地区生コン協同組合の理事長でもあります。

西森氏談 生コン業界の役割と社会的使命を十分に認識し、建設業界の皆様との共存共栄の精神で日々精進し、地域社会の発展に少しでも貢献できれば、それがいわゆる高知県の発展にもつながるのではないかと思います。頑張る所存です。(写真は西森新副理事長)

四国地区本部 事務局が移転

私たちは全国生コンクリート工業組合連合会及び協同組合連合会に所属していますが、その下に四国4県の組合で構成される四国地区本部があります。

この四国地区本部事務局は2年ごとに各県の持ち回りで交代しており、平成21・22年度は高知工組が担当することとなりました。

四国地区の意見や要望をまとめたり、全国組織からの連絡事項を通知したり、講習会の開催などが主な業務となりますが、意見一つをまとめるにしても各県のさまざまな特質があるため調整が難しく、なかなか大変なケースがあるようです。

21年度全生連総会開催

去る6月23日、東海大学校友会館(東京)において全国生コンクリート工業組合連合会・協同組合連合会平成21年度総会が開催されました。

平成20年度事業・決算報告、21年度事業・予算計画が承認されるとともに新役員が選出され、当組合田邊理事長が全国10人の副会長の1人に選出されました。

高知工組ホームページ開設

もうご存知の方も多いと思いますが、当組合のホームページをごらんください。これは、田能前工業組合専務理事と中部協同組合の梅川事務局長のご努力により完成したもので、URLは下記のとおりです。ご意見・ご希望があれば、事務局または中部協組梅川氏までお寄せください。

<http://www.kochikouso.or.jp/>

最近の話題から

印字記録が必要になる

現在の納入伝票に記入している事項に加え、来年4月1日以降は原材料の配合値を記入しなければいけないこととなりました。これに伴い、印字記録装置を新たに導入する必要が発生する他、計算ソフトの導入やプラントによっては計量器そのものの変更が必要になります。相当な費用負担になることが予想され、また準備に要する期間も長いので、技術担当者の方を中心に万全の対策をお願いします。

乾燥収縮

コンクリートのひび割れは構造物の耐久性に大きな影響を与えます。ひび割れの原因はさまざま、必ずしも生コンだけが悪いわけではありませんが、コンクリートは乾燥することによって縮み、これがひび割れの一つの要因になっていることは間違いのない事実です。

コンクリートの乾燥収縮は骨材の特性に左右されることがわかっています。自分の工場で出荷している生コンの乾燥収縮がどの程度なのか、改善するにはどのような方法があるのかをあらかじめ把握して、お客さんの質問や要求に対応できるよう準備しておきましょう。

「夏まつり」のお誘い！ 青年部

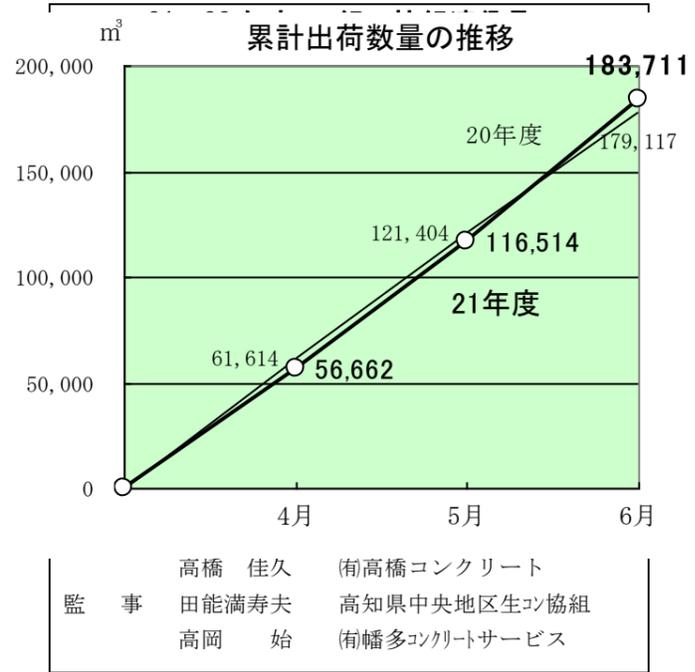
高知県中小企業青年中央会主催の第13回「組合青年部まつり」が、来たる7月25日(土)午後6時～9時、帯屋町1丁目アーケード街で開催されます。当組合青年部も参加し、金魚すくい、アイスクリーム販売、防災活動PR動画、生コン製造過程のパネル展示、クイズなどを行います。抽選でミキサー車のミニカーも配られますので、あなたもぜひお出かけください。

前年比102% 第1四半期の出荷量

平成21年度第1四半期の当工業組合の生コン出荷数量は別表の通り累計183,711 m³で、前年同期比の102.6%と、予想をやや上回りました。

大型補正予算が議会を通過し、前倒し発注も行われていますが、その効果が表れ始めたのかどうかは、もう少し様子を見ないと分かりません。いずれにしても、第2四半期以降に期待したいものです。

第1四半期の出荷数量表 (m ³)				
	4月	5月	6月	4～6月計
21年度	56,662	59,852	67,197	183,711
20年度	61,614	59,789	57,713	179,117
前年比	92.0%	100.1%	116.4%	102.6%



訃報 理事 藤座建夫殿 6月11日逝去されました。慎んでお悔やみ申し上げます。

話題、ニュース等を下記までお知らせください。

生コン高知編集局
発行人 田邊 聖
編集人 小松 正浩
高知県生コンクリート工業組合
高知県生コンクリート協同組合連合会
高知県高知市城山町183-5
電話 088-833-3110
FAX 088-833-3242
Mail namakon-kochi@sirius.ocn.ne.jp